

## 令和3年度 介護関係者向け研修 分析・考察

テーマ：「症状から何が考えられるか？介護関係者に伝えたい事」

目的：○観察ポイントを知る事ができる

○状態報告の仕方など医療との連携について知る事ができる

### 【アンケート内の意見】

- ・医療系には自信がなく、定期訪問の際に利用者様の様子について、もっと気づきを意識していかなければと思いました。
- ・見落としがちな日常生活での観察意欲の向上になりました。
- ・鍼灸師・マッサージ師として高齢者に関わる事が多く、動画の内容は日々直面するものばかりでした。問診・望診から疑うべき疾患、レッドフラッグについて勉強していますが、この動画はまさに知りたい内容の一部でした。
- ・日々対応している利用者の観察ポイントを具体的に医者視点と介護側の視点両方から話が聞けた。
- ・多職種でのチームワークの重要性を再確認できました。

### 【分析・考察】

参加者の内訳は、介護機関72% 医療機関21%となっており、テーマとして主な対象者に閲覧してもらう事ができた。目的についても、日常生活の中から観察して連携する重要性についての意見があり、理解が深まったかについては、92%が深まったと回答しており、目的は達成できたと考える。

今後の研修の要望としては、疾患に関する事が多く、在宅でのリハビリ、口腔ケアや食事摂取、水分摂取低下が問題になる事が多く、嚥下機能についてなどが挙げられた。また、治療方法（薬など）の注意事項などの治療についての希望が多い。医療・介護の連携については、介護・医療関係者のどちらからも意見があり、疾患等でのケアのポイントに加えて、どのような連携が必要かを盛り込めるようなテーマを検討する必要がある。

